

こんにちは

議会です

From 500 City Assembly

曾於市議会だより

第75号

令和6年2月1日
発行



大隅北 おろん市&マルシェ (P20参照)

特集

市長選・市議会議員選挙 議会改革調査特別委員会……P2

議員定数削減決定・同時選挙は実施せず

Topics 第4回定例会……P6

8名の議員が登場 市政を問う……P10

曾於市消防団×総務常任委員会

議員と語ろう会……P19

故 大川内 富男 議員 追悼……P19

桐木平 大河さんの想い 夢チャレンジ……P20

議員定数削減決定 20人から18人へ

同時選挙は実施せず

議会改革調査特別委員会では、時代に応じた対応が可能となるよう議会改革を行うため、「議員定数等に関する調査」と「議員任期に関する調査」を2つの分科会に分けて実施しました。

また、令和5年9月定例会に大隅町・財部町・末吉町の各町公民館長等連絡協議会会長の連名で「市長選挙と議会議員選挙の同時開催並びに議会議員定数削減に関する陳情書」が提出され、その審査を付託されたことから、参考人として陳情者からの意見聴取を実施し、審査を行いました。これらの調査内容及び調査結果について報告します。

議員定数等に関する調査分科会

1 地方議会セミナーでの調査

セミナーでは6つの算定方法が示され、各方式の議員定数を算定する上での基本的な考え方や全国的なデータ等を基に、曾於市では何人が適当かの試算結果も具体的に示されました。

- ① 「常任委員会数方式」 ▽ 18人
- ② 「人口比例方式」 ▽ 17・3人
- ③ 「小学校区方式」 ▽ 20人
- ④ 「議会費固定方式」 ▽ 19人
- ⑤ 「類似都市との比較方式」 ▽ 18人
- ⑥ 「面積・人口方式」 ▽ 20人

2 南九州市議会での調査

南九州市議会では、これまで議会主導で議員の定数を削減してきました。若手議員らから「広く市民の意見を聞くべき」との声があり、市民アンケートを実施。

その結果、約半数が「減らすべき」と回答したことを重く受け止め、議員の定数を削減するに至りました。

本市と南九州市の比較（令和5年12月末現在）		
	曾於市	南九州市
人口	32,933人	32,072人
改正前	20人	20人
改正後	18人	18人
任期開始日	令和7年12月1日	令和5年12月23日



南九州市議会での事務調査の様子

3 参考人からの意見聴取

参考人（陳情者）から、曾於市の人口は合併以降、過疎化、少子化により急速に減少しており、その中で、市長と議会議員の同時選挙の開催や議員定数削減の議論は避けて通れないと感じ、公民館長等の中でも各場面で意見交換がされてきました。このようなことを受け、各地域で議論した結果、**陳情項目1「市長選挙と議会議員選挙を令和7年7月に同時開催すること」**

陳情項目2「同規模自治体を参考にされ、次回選挙から議会議員定数を削減すること」を求めたものであるとの趣旨説明がありました。

4 これまでの調査を基に議論

5つの協議テーマを設定し、テーマごとに委員の意見を聴取した上で総括的に協議し、その意見及び調査内容を特別委員会に報告しました。※表1を参照

5 特別委員会での協議結果

特別委員会での総括的な討議では、民意が市政にますます届かなくなるとの懸念から「現状維持すべき」との意見と、人口減少の問題や類似団体との比較、陳情の重み

を考慮して「定数を削減すべき」との意見が出されました。

特別委員会として定数の素案を協議した結果、次期選挙から現状の「20人」から2人削減の「18人」とする案が多数を占める結果となりました。

今までの流れ			
議員定数		議員任期	
R4. 3.25	特別委員会設置	R4. 3.25	特別委員会設置
R4. 4.15	第1回分科会	R4. 4.15	第1回分科会
R4. 6.24	第2回分科会	R4. 6.24	第2回分科会
R4. 8. 2	地方議会セミナー(京都市) ①	R4.8.3~4	事務調査(名張市) ⑦
R4.12.19	第3回分科会	R4.12.19	第3回分科会
R5. 5.25	事務調査(南九州市議会) ②	R5. 2. 7	事務調査(阿久根市) ⑧
R5. 6.16	第4回分科会	R5. 6.16	第4回分科会
R5. 8.21	第5回分科会	R5. 8.21	第5回分科会
R5. 9.04	市長選挙と議会議員選挙の同時開催並びに議会議員定数削減に関する陳情書		
R5.10.13	第6回分科会		
R5.10.23	参考人からの意見聴取 ③	R5.10.23	参考人からの意見聴取 ③
R5.11.22	議員間討議 ④	R5.11.22	議員間討議 ⑨
R5.12. 6	各委員からの意見聴取・検討・まとめ ⑤	R5.12. 6	各委員からの意見聴取・検討・まとめ ⑩
R5.12.25	陳情について賛成多数で可決 ⑥ 議員発議により定数20から18へ	R5.12.25	陳情について反対多数で否決 ⑪

(※⑥以降は P4・P5 を参照)

表1	議題	内容
①	議会運営性	・現状の3つの常任委員会が必要。人数も運営上、委員長以外に最低5人は確保が必要。よって18人が下限なのは。
②	人口・面積	・合併当初の人口から約1万人も減少し、既に見直しの時期に来ていると認識すべき。 ・面積が広大な本市にあっては、議員自体が旧町の垣根を越えて議員活動を行うという考え方を持つべき。
③	地域性	・市の中心部以外の地域から声が上がらなくなる危機感を感じており、削減は市民にとっても良いことばかりではない。 ・削減により、大隅、財部地区の議員が少なくなるおそれがある。議員活動が市民に見えづらくなることが心配される。 ・定数を削減すれば、地域の公民館・コミュニティ組織を含めた体制の整備も同時に行うことが必要。
④	市民意見	・住民からの議会に対する目は非常に厳しい。議員に自覚を促していると捉え、真摯に受け止めるべき。 ・陳情が出されたことは重く受け止めるが、市の中心部以外から議員がいなくなるという覚悟が市民も含めて必要。 ・人口減少により定数を減らすべきという意見がある中で、議員活動を自ら市民に広く知らしめ、議会が活発に議論する場になるように努めていくべき。
⑤	その他	特に意見なし

議員任期に関する調査分科会

7 三重県名張市議会での調査

名張市では昭和29年の市政施行の際、在任特例で議員任期を5か月延長したため、市長選挙の4か月後に市議会議員選挙が行われてきました。

平成30年3月議会に「議会の解散に関する決議」が上程されましたが、賛成12、反対7で特別多数決の5分の4以上の要件を満たさず否決となりました。

令和3年の議会報告会では、多くの地域で「同日選挙」を要望する声があり、市民から要望書の提出もありました。

このような経緯を経て、令和4年3月定例会で「議会の解散に関する決議」が上程され、全会一致で可決し解散に至りました。また、全市民を対象にしたアンケート調査や議会報告会での議論等を行っていました。

※議会の解散は、特例法により議員数の4分の3以上（本市15人以上）が出席し、その5分の4以上の同意が必要です。

5分の4の要件	
出席者数	可決人数
15人	12人以上
16人	13人以上
17人	14人以上
18人	15人以上
19人	16人以上
20人	

8 阿久根市議会での調査

阿久根市議会では、陳情を賛成多数で採択すべきとの結論を得て、7名の議員から「解散に関する決議」が提出、無記名投票による採決の結果、賛成6、反対5で賛成が過半数となったものの、議会の解散に必要な特例法に規定される出席議員の5



名張市議会での事務調査の様子

分の4以上に達せず、解散には至らなかった経緯を確認しました。

9 これまでの調査を基に議論

委員に意見を求めたところ、「市長選挙と市議会議員選挙は意味が違う」などの『現状維持』の意見と、「人口減少に加えて市民からの要望も多い」などの『同時選挙』とする意見が拮抗し、また、「経費削減の効果に関する情報が必要」などの意見が出されたため、選挙管理委員会事務局で試算した結果、推定で約1600万円削減可能であることなどを確認しました。

【分科会での委員からの意見】

- ・二元代表制の考え方からすれば、市長と議員の立場はまったく別。選挙が一緒になれば経費削減にはなるが、それだけでは推し量れない問題がある。
- ・合併当初の特例で議員選挙が11月に実施されてきたが、合併後約20年を経過しようとしている今、陳情が出されたことを重く受け止めるべき。
- ・同日選挙は、費用削減、投票率の向上、職員の労力軽減などのメリットが大きい。市民から見れば、なぜ選挙を2回しなければならぬのか理解し難い。陳情を重く受け止めなければならない。
- ・市民から負託された任期4年間で、解散により議員自ら放棄することが、議員としていいのか考えるべき。
- ・議会解散の議決は出席議員の5分の4以上の者の同意を必要とする。議員のほとんどが、どうしても解散しなければならないという結論に至らない限りは、同時選挙はしばらく実施すべきではない。

その上で、再度、分科会としての方向性を議論しましたが、賛否両論あり、分科会として合意形成するに至らず、賛否両方の意見が出されたことを特別委員会に報告しました。

10 特別委員会での協議結果

議員任期に関する討議結果を踏まえ、各委員から意見を聴取した結果、市長選挙と議会議員選挙を市長選挙に合わせて同日に実施することについては、賛成、反対の意見が拮抗し、同日選挙の実施に賛成する委員が過半数には達しない結果となりました。

市長選挙と議会議員選挙の同時開催並びに議会議員定数削減に関する陳情書について

611 陳情第9号

特別委員会での審査を終え、本陳情のうち、陳情項目1「市長選挙と議会議員選挙を令和7年7月に同時開催すること」については、採決の結果、賛成少数により不採択と決定しました。また、陳情項目2「同規模自治体を参考にされ、次回選挙から議会議員定数を削減されること」については、採決の結果、賛成多数により採択するものと決定しました。

※陳情の採決結果はP9を参照



11 陳情項目1 「市長選挙と議会議員選挙を令和7年7月に同時開催すること」

賛成討論	<p>片田議員： 市長選挙と市議会議員選挙が別々に行われている経緯は、市町村合併時の経緯で先送りされたと思っている。議会改革調査特別委員会は、この問題を検討しており、同日選挙に関する調査も実施している。公民館長代表からの陳情には、経費削減や同日選挙による住民負担・職員の業務負担軽減が含まれており、これを市民の代表として重要視し、賛成である。</p>
	<p>矢上議員： わずか半年の間に2回も市長選・市議選の選挙をするよりも、1600万円の経費削減になるのであれば同日選挙でよい。</p>
反対討論	<p>山中議員： 市長が途中で辞職した場合、議会も辞職するかどうか未定。市長の事故等で、議員が総辞職するか議論が煮詰まっていない。別日の選挙を行うか未だ議論が深まっておらず、場当たりの総辞職は避けるべき。市議会議員選挙の高い投票率（前回68%）に対し、市長選挙の低い投票率（前回57%）を考えると投票率を上げるためという理由は合理性に欠け、同時開催に反対の立場である。</p>
	<p>徳峰議員： 選挙が本質的に異なり、制度や役割が別個である。経費削減の理由というのは、側面から見た一つの便宜的な理由であり、混同してはならないというのが基本的な考えである。合併後、曾於市は過去5回、力量のある議員の方々の方が市長選挙に立候補され、ほぼ互角の戦いを行ってきた。これは大きな立場から見れば、議会の活性化並びに市当局との良い意味での緊張関係を保つ、更に広く言って曾於市の地方自治の前進にとっては、私は大きなプラスであったとみている。</p>
	<p>今鶴議員： 今回の陳情は非常に重く受け止めているが、地方公共団体の議会の特例法には、議会の解散の議決には、出席議員の5分の4以上、つまり19名の議員のうち16名の同意が必要である。しかし、現在は賛否が拮抗しており、議会の解散には、議員の総意として十分な相互理解が必要である。今回、本陳情を採択したとしても、議会を解散できなければ、市民に誤解と混乱を招くおそれがある。</p>

6 陳情項目2 「同規模自治体を参考にされ、次回選挙から議会議員定数を削減されること」

賛成討論	<p>山中議員： 3常任委員会制度の維持は定数2削減までであれば、最低限の審議の質が維持できると認識している。本市は合併当時から人口減少が続いている一方で、予算規模は平成25年度の231億円から令和4年度の299億円と拡大している。予算規模が拡大すれば当然審議する内容も多くなり、審議の質の維持が課題となる。定数2削減であれば3常任委員会制度を維持でき、一方で議員が減った分の費用は充実した研修プログラムや改革アドバイザーシステムに充て、質の向上に努めるべきである。他自治体の事例を参考にしつつ、議会改革を単なるコストカットにとどめず、総合的な取組を同時並行で行うべきである。</p>
	<p>鈴木議員： 議員定数削減のメリットは主に経費節減であり、将来的に報酬の見直しが考えられ、経費削減はしれたものである。削減により、議員が身近にいない地域や関心の低い地域では投票率の低下や民意の削減となり、特に若い世代や女性の立候補が難しくなり、議員のなり手不足につながる。現在の高齢化社会で議員の役割が重要な中、人口割合だけの削減は適切でない。</p>



Topics

第4回定例会

令和5年
12月1日から
12月25日まで
(25日間)

条例の一部改正や補正予算、各施設の指定管理者の指定についてなどの議案を審査・審議しました。

Topic 1

報酬等審議会に
あらかじめ諮問

議案第68号 **全会一致 可決**

本案は、教育委員会等の行政委員会及び委員からの報酬額の見直しに際し、報酬等審議会にあらかじめ諮問し、予算上の判断を行うことができるとするよう条例の一部を改正するものです。

問 新たに行政委員会の委員を対象として追加した理由は何か。

答 市民に開かれた報酬額の決定過程をとることにより、その透明性が高められる。

問 ほかの自治体の状況は。県内19市で同じように条例改正している市は現時点ではない。

Topic 2

被保険者の産前産後
期間の保険税を減額

議案第70号 **全会一致 可決**

法改正に伴い、被保険者の産前産後期間の国民健康保険税を減額するために条例の一部を改正するものです。

具体的には、被保険者が単胎妊娠の場合、出産予定月の前月から翌々月までの期間に最大12分の4の額を、多胎妊娠の場合は、出産予定月の3か月前から翌々月までの期間に最大12分の6の額を所得割額及び均等割額から減額する内容であるとの説明がありました。

Link

国民健康保険税の
産前産後免除
制度について
市のホームページ
にリンクします。

Topic 3

SKLV内の各施設
利用者が決定

議案第73・74・75号 **全会一致 可決**

SKLV（南九州畜産獣医学拠点）内の施設を3年間独占的に利用させる内容です。

問 各施設の年間使用料は。

答 次のとおりであり、牛・馬飼養施設使用料については、牛の導入開始から数年間は大きな収益が見込めない、馬事業のみでの大きな収益が見込めないこと等から軽減する。

施設名	事業者名等	年間使用料 <small>※牛・馬飼養施設は使用料の軽減が適用されています。 ()内は条例上の使用料</small>
牛飼養施設	鹿児島県経済農業協同組合連合会	200万円 (617万6,000円)
鶏飼養施設	国立大学法人鹿児島大学	95万3,000円
馬飼養施設	有限会社カナディアンキャンプ乗馬クラブ	100万円 (533万2,000円)



今春オープンするSKLV

問 馬飼養施設の馬の搬入計画について伺う。

答 事業者から提出された事業計画では、令和6年4月からクラブ馬及び預託馬を11頭搬入する計画である。

問 引退した競走馬の搬入の可能性はあるのか。

答 競馬で優勝したような引退馬の馬主は、預け先の施設の飼育実績を重く見るため、現状、未だ実績のない本施設に引退馬を預けるといってこるまでには至っていない。

Topic4
期末手当等に係る支給割合を引き上げ

議案第87・88号 **全会一致 可決**

特別職等では、12月に支給する特別職及び議会議員に係る期末手当の支給割合を100分の155から100分の165に引き上げ、令和6年度以降の期末手当を平準化する改正内容です。また、一般職の職員についても12月の期末・勤勉手当に係る支給割合をそれぞれ0・05月分引き上げるとともに、行政職給料表を平均1・1%引き上げる改正です。

Topic5
諏訪団地1戸を譲渡

議案第71号 **全会一致 可決**

曾於市地域振興住宅譲渡条例に基づき、諏訪団地1戸を譲渡することに伴い、関連する規定を改正するため、条例の一部を改正するものです。

問 住宅の譲渡価格は。

答 譲渡価格は392万9000円で、価格の算出に当たっては、公営住宅の複成価格の算出方法に準拠した。

Topic6
各施設の指定管理者決まる

議案第76・77・78・79・80号 **全会一致 可決**

議案番号	施設名等	管理者名	指定管理期間
77号	S K L V	一般財団法人 スクラブそお	令和6年4月1日から 令和9年3月31日まで 3年間
76号	大隅弥五郎伝説の里	社会福祉法人 曾於市社会福祉 協議会	令和6年4月1日から 令和11年3月31日まで 5年間
78号	大隅デイサービスセンター		
79号	財部保健福祉センター		
80号	曾於市 ゆず冷凍保管庫	株式会社 メセナ食彩センター	

S K L Vの指定管理料は次のとおり計画されていると説明がありました。

指定管理料
令和6年度 2,207万8,000円
令和7年度 2,519万円
令和8年度 2,447万3,000円

問 レンタルオフィスの使用料の減額についてはあるのか。
 答 減額は考えていない。

意見 SKLVの運営に関する各事業者の決定を経て、今後スムーズな運営ができるよう、本市も十分な協力体制をとるよう。

Topic7
曾於市学校給食センターに配置する厨房機器を取得

議案第72号 **全会一致 可決**

改築する曾於市学校給食センターに配置する厨房機器を取得するため、議会の議決を求めるものです。

◆落札者
 (株)中西製作所鹿児島営業所
 ◆落札価格 5390万円
 ◆落札率 97・1%

Topic8
令和5年度曾於市一般会計補正予算(第9号)を可決

議案第82号 **全会一致 可決**

歳入は、国の現年発生公共土木施設災害復旧事業費負担金や県の活動火山周辺地域防災営農対策事業費補助金等を追加するものが主なものです。歳出は、管理研究棟及び地域交流棟設備増設工事等の追加による南九州畜産獣医学拠点事業費や子ども医療費助成事業、活動火山周辺地域防災営農対策事業費、肉用子牛生産推進緊急支援対策事業費、台風6号の災害発生による工事請負費等の追加が主なものです。

2億9945万円追加
 予算総額 298億9073万円

総務常任委員会

(山中雅人委員長)

【にぎわい「そお生」事業の古民家再生活用モデル提案事業補助金】

問 今後、建物の解体も考えられるか。

答 検討委員会で解体も含めて検討することになる。

【曾於市クリーンセンター管理費】

問 曾於市クリーンセンター管理費の施設管理用品406万1000円の増額についての内容は。



今後、解体も含めて検討される古民家

答 ガス冷却噴射ノズルやコンベアチェーン等の緊急性が高く納品に時間を要する物品をあらかじめストックとして保持する必要があることから購入するものである。

文教厚生常任委員会

(岩水豊委員長)

【生涯学習課所管施設等の修繕費】

所管施設等の修繕費の増額が主なものであると説明がありました。

意見 施設の老朽化に伴う修繕費が年々増えているので、当初予算での予算確保が必要である。

産業建設常任委員会

(測合昌昭委員長)

【道の駅及び四季祭市場施設管理費】

問 防災備品の無停電電源装置とは。

答 停電時に2時間ほど電力を供給することができ、この間にレジの締め作業やパソコン等のシャットダウン作業を行うためのものとして設置するものである。

【肉用子牛生産推進緊急支援対策事業給付金】

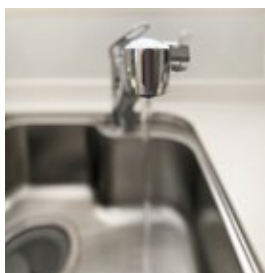
問 5月から10月までの同給付金の給付実績は。

答 申請者554人、4407頭に対して4407万円を給付した。給付に当たっては、市から対象者に通知を出し、その後、対象者からの申請に基づいて給付している。

【小規模水道施設整備費補助】

問 増額補正の理由は。

答 今年度、既に10水道組合に対して補助を行ったが、今後3水道組合からの申請が見込まれているため、増額補正をお願いするものである。



Topic9

議員発議4件が提出されました

発議番号	件名	内容
3号	曾於市議会議員定数条例の一部改正について	社会情勢の変化や人口減少など、様々な問題により、時代に応じた対応が求められる中、本市議会においても、その在り方を議会改革調査特別委員会において調査し、議論してまいりました。その経過及び結果を踏まえ、議会改革の一つとして、議員定数を、現行の「20人」から「18人」に改正するものです。
4号	不登校児童生徒に対して多様な学習機会の確保のための経済的支援制度の確立を求める意見書案	不登校支援の一部である多様な学習機会を確保するため、経済的支援の在り方についての検討と財政上の措置を講ずることを国の関係機関に対し意見書を提出しようとするものです。
5号	五位塚市長の国政事案に対する慎重な姿勢を求める決議案	五位塚市長は、国政の事案に対する意見表明を多くされており、その内容を巡って物議を醸すことも多く、市長の発言の影響力の大きさから市民の分断を招く懸念もあり、市長の一層の慎重な姿勢を求めるため提案されたものです。
6号	曾於市議会委員会条例の一部改正について	曾於市議会議員定数の条例の一部改正に伴い、総務常任委員会及び文教厚生常任委員会の定数を「7人」から「6人」にそれぞれ改めるため提案されたものです。

第4回定例会で全会一致で可決された案件

区分	議案番号	件名	区分	議案番号	件名	
議案	第68号	曾於市特別職報酬等審議会条例の一部改正について	議案	第83号	令和5年度曾於市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)について	
	第69号	曾於市行政組織条例の一部改正について		第84号	令和5年度曾於市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)について	
	第70号	曾於市国民健康保険税条例の一部改正について		第85号	令和5年度曾於市介護保険特別会計補正予算(第2号)について	
	第71号	曾於市地域振興住宅条例の一部改正について		第86号	令和5年度曾於市生活排水処理事業特別会計補正予算(第3号)について	
	第72号	財産の取得について		第88号	曾於市職員の諸給与に関する条例の一部改正について	
	第73号	公の施設を長期かつ独占的に利用させることについて		第89号	令和5年度曾於市一般会計補正予算(第10号)について	
	第74号	公の施設を長期かつ独占的に利用させることについて		第90号	令和5年度曾於市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)について	
	第75号	公の施設を長期かつ独占的に利用させることについて		第91号	令和5年度曾於市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)について	
	第76号	指定管理者の指定について		第92号	令和5年度曾於市介護保険特別会計補正予算(第3号)について	
	第77号	指定管理者の指定について		第93号	令和5年度曾於市生活排水処理事業特別会計補正予算(第4号)について	
	第78号	指定管理者の指定について		第94号	令和5年度曾於市水道事業会計補正予算(第3号)について	
	第79号	指定管理者の指定について		第95号	令和5年度曾於市公共下水道事業会計補正予算(第2号)について	
	第80号	指定管理者の指定について		発議	第4号	不登校児童生徒に対して多様な学習機会の確保のための経済的支援制度の確立を求める意見書案
	第81号	令和5年度曾於市一般会計補正予算(第8号)について				

賛否が別れた案件

議決結果一覧

迫議員は議長のため、議決に加わることはできないが、投票による表決の場合で可否同数になったときは、議長が可否を決定する(裁決権)ことになる。
賛成「○」。賛成者のみを語る表決方法であるため、賛成者以外(反対者・態度保留者・棄権者等)は「●」としている。

議案	議員名	山中	出水	瀬戸	矢上	片田	重久	鈴木	上村	岩水	湊合	今鶴	九日	土屋	原田	山田	渡辺	久長	徳峰	結果		
		雅人	優樹	恵理	弘幸	洋志	昌樹	栄一	龍生	豊	昌昭	治信	克典	健一	賢一郎	義盛	利治	良男	一成			
議案	第87号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●	可決		
陳情	第9号	市長選挙と議会議員選挙の同時開催並びに議会議員定数削減に関する陳情書																				
		●	○	●	○	○	○	○	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	不採択	
発議	第3号	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	可決	
	第5号	○	●	○	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	●	否決
	第6号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	可決



市政を問う

一般質問とは議員が市政全般にわたり、市の考えを問うものです。

一般質問
8名の議員登壇

◆ 令和5年12月12日

1. ^{とくみね かずなり}徳峰 一成 (日本共産党) P11
○市民の暮らしを守る物価支援策を ○施設等の老朽化対策に力を入れよ
○会計年度任用職員の待遇改善を
2. ^{かみむら たつお}上村 龍生 (創政会) P12
○人口減少対策 ○優秀な農村の「顕彰制度」の採用 ○交流人口増対策
3. ^{やまなか まさと}山中 雅人 (さくら会) P13
○南九州畜産獣医学拠点 ○本市の介護施設における人手不足 ○地域の防犯対策
4. ^{やがみ ひろゆき}矢上 弘幸 (れいわ会) P14
○かごしま国体 ○総合大学 ○閉校跡地の活用法 ○子ども議会
※掲載以外の質問項目 ○特任教 ○SOO GOOD FM

◆ 令和5年12月13日

5. ^{いまづる はるのぶ}今鶴 治信 (創志会) P15
○農業公社 ○観光振興 ○台湾里港郷との交流
6. ^{いずみ ゆうき}出水 優樹 (れいわ会) P16
○有害鳥獣対策 ○本市の農業 ○人口減少問題
7. ^{いわみず ゆたか}岩水 豊 (新生会) P17
○南九州畜産獣医学拠点事業 ○肉用子牛生産推進緊急支援対策事業
○曾於市独自の小規模農家支援
8. ^{せとぐち えり}瀬戸口 恵理 (さくら会) P18
○孤独・孤立対策 ○小児科不足問題 ○オーガニック給食の推進
※掲載以外の質問項目 ○公園の防犯対策

() 内は会派または政党名を記載しています。



Question

市民のくらしを守る
物価支援策を

Answer

市長／商品券事業は検討したい

Link



一般質問の録画

市民のくらしを守る
物価高対策を

問 新年度予算は、すべての市民が共感できる支援策を議会に提案するべきではないか。

市長 商品券事業は新年度も検討したい。そのほかの支援策を当初予算で提案することは、今は言えない。

施設等の老朽化対策に
力を入れよ

問 修繕等の計画がある64施設の中で、令和4年度は2億837万円の計画に実行は4519万円、5年度は2億2359万円の計画に実行は838万円と、老朽化対策が大変遅れている。

例えば、財部北地区生活改善センターは本年度建替の計画だった。いつ建てるのか。

市長 いつ建てるかは、今は答弁できない。近々検討していきたい。

問 大隅文化会館は昨年冷房が故障している。新年度に修繕できるか。

市長 修繕に1億円が必要である。修繕しなくては断言できない。

老朽化した市有施設の現状

市有施設総数	420施設
耐用年数を過ぎた施設	240施設

会計年度任用職員の
待遇改善を

問 この3年間に、退職金が支給されるフルタイム職員は、62人から4人に減らされている。新年度から、フルタイム職員はもとの人数にもどすべきではないか。

市長 私はフルタイム職員はなるべく減らすべきだと考えている。

問 労働政策の後退であり、あきれた答弁ではないか。この12月議会で会計年度任用職員は期末手当の引上げがなく不公平である。新年度で待遇改善をはかるべきではないか。

市長 できるかどうか検討したい。

会計年度任用職員の特徴と現状

	フルタイム職員	パート職員
	給料	報酬
	期末手当有り	期末手当有り
	退職金有り	退職金無し
令和2年	62人	132人
令和5年	4人	213人

ちょっと
ひとりごと

会計年度任用職員は
曾於市民。
待遇改善を
強く求めたい



Link



一般質問の録画

Question

合併後の人口減少速度は

Answer

市長／当初予測より相当早めの減少となっている



人口減少対策

問 合併後の人口減少予想と実態は。

市長 合併後15年で約5400人の減少と予想していたが、実態は9700人の減少となり、予想より人口減少傾向が進行している。

問 今後の予想は。

市長 令和27年度には2万416人になると予想している。

優秀な農村の「顕彰制度」の採用

問 NHK特集で、2050年度には日本の農業は潰れると言っている。一方で「日本の復活は農村の復活だ」と言われている。農村に一定の誇りが持てない環境は国が滅びる。元気な農村に何としても頑張っ

てほしい。そうでないと後継者の魂にも火が付かない。

このような状況の改善策として市民から、「優秀な農村を選び未来推奨型の『家』として顕彰（表彰）を行う。それを契機にして、さらにその地域を充実させるため建設業等も繁栄させ農村の形態も変え、若者の後継者人口増も期待できるようにする」という提案があった。

市からの要請があれば、いつでも提案内容の説明に行くと話しているが。



美しい農村風景

市長 良い提案であれば聞き取りを行い市の政策に生かしていきたい。

交流人口増対策

問 山口県元乃隅神社がここ4・5年で国内外からの観光客が急速に伸びている。ここは、123基の鳥居が個人や団体等により、商売繁盛・縁結び・健康祈願等として奉納されている。アメリカの放送局CNNで放映されたから、急速に観光客が伸びた神社である。個人の神社でも構わないが、曾於市にそのような神社を設置することに市長はどのように考えるか。

市長 元乃隅神社のようにはテレビや新聞等、様々なメディアに取り上げられたことで注目

され、観光客が増えたことは地域への経済効果等が見込まれ、素晴らしいことだと思う。曾於市でも何らかの方策を考えたい。



123基の鳥居

ちょっと
ひとりごと

美しい
農村風景を



やまなか まさと
山中 雅人
(さくら会)

Question

JRA との交渉の経緯は

Answer

市長 / 2億円規模の助成があり成果を得た

Link



一般質問の録画

南九州畜産獣医学拠点

問 預託馬はJRAの引退馬を中心に引き受ける予定だったがそれがなくなったのはなぜか。

企画政策課長 本施設は飼育実績のない施設のため、難色を示す馬主がいるのが理由である。

問 預託馬がなければ委託料も入ってこないが、馬施設の収益は大丈夫か。

企画政策課長 現在福岡県宗像市のカナディアンキャンピング乗馬クラブを運営業者に予定しており、試算では初年度より黒字を想定している。



馬は直接的な経済動物ではないので収益性は厳しく見る必要がある

本市の介護施設における人手不足

問 本市の介護施設における人手不足の状態は。

福祉介護課長 施設によつては、稼働率を下げて運営しているところもある。

問 市が出しているデータによると、待機者が244人に対して空き部屋が147室となっているが実態は。

福祉介護課長

単一の方が複数の施設に申請しているケースもあり、具体的な数字は把握していないところである。

地域の防犯対策

問 現在2分の1が自治会からの負担である。自治会の組織率も下がっており、負担軽減の必要性も考慮し市が3分の2を持つようにしても良いのではないか。

市長 今すぐには言えないが、何らかの形でするときに来るのではないかと考えている。

問 本来地域の防犯というものは、警察や市の仕事であり、善意で自治会の皆さんにお願いしているものである。現在では電気代の維持費も自治会が持つっており、負担の軽減は必要

ではないか。

市長 各公民館長、自治会長を交えて明るいまちづくりの議論をさせていきたい。



本市に設置されている防犯灯

ちょっと
ひとりごと

自治会の
負担の軽減を
積極的に！



Link



一般質問の録画

Question

子ども議会を市報に詳しく載せては

Answer

教育長／ぶち抜き4面で載せるようにしたい



やがみ ひろゆき
矢上 弘幸
(れいわ会)

子ども議会

問 子どもたちが一生懸命考えて質問・提案した内容を、市報に載せれば達成感につながる。また、地域の住民も地元の子どもたちが載っていると元気になるので市報等で載せることはできないか。

教育長 今年から子ども議会を要望型から提言型に変更した。学校で、みんな考えて取り組んだ内容を、タブレットを使いながら上手にプレゼンしていた。来年は広報にお願いして、ぶち抜き4面で載せることができるようにしたい。

かごしま国体

問 初日、2日目の来場者数は。

教育長 初日は1000人、2日目は800人で

あった。

問 体育館周辺でしか国体ののぼりを見なかったが、財部・大隅では設置しなかったのか。

生涯学習課長 設置していない。実行委員会からも意見はなかった。

問 台湾と友好を深めるのであれば、太極拳は相互文化理解にもなり、健康寿命も延ばせる。体験教室や演舞披露をしたらどうか。

市長 女性がたくさん参加しており、健康づくりに良い競技だと思っている。スポーツとして、文化行事として、色んな取組をしていきたい。

閉校跡地の活用法

問 大隅南小、財部北小、高岡小の活用状況、予定は。

教育長 次のとおりである。

大隅南小学校	地域コミュニティの拠点として活用中
財部北小学校	屋外運動場は校区公民館利用 校舎や体育館は未活用
高岡小学校	校区公民館と協議中

問 放課後デイサービスやフリースクール、竹の加工場、またジビエの処理場など提案や公募はできないか。

教育長 地域の意向を最優先している。企業誘致等を希望するのであれば

提案する。そういう声が必要れば地域が利用できるように、教育委員会が維持管理していく。

曾於市総合大学

問 3年制を実施することで、受講者数が減るのではないか。

生涯学習課長 同一の講座を3年受講している方は360人いる。アンケートの結果で反対意見が多ければ、来年度以降は3年制を廃止する。

ちょっとひとりごと

子どもたちの
頑張りは地域を
元気にします



Question

農業公社にドローンの導入は

Answer

市長／今後ドローンによる薬剤散布も取り組む検討をする

Link



一般質問の録画

農業公社

問 農業公社が取得した土地の面積・目的は。

市長 農業公社に隣接する41222平方メートルの雑種地に、コントラクター事業の作業機械等の保管庫の建設を考えている。

問 水田・かんしよ基腐病対策等の農薬散布のため、ドローンの導入はできないか。

市長 高齢化対策や薬剤散布の労力軽減のため、導入に前向きに取り組んでいく。

観光振興

問 曾於市観光協会の観光事業の実績は。(過去5年間)

市長 次のとおりである。

観光ツアーの実績

年 度	実施回数
平成30年度	139回
令和元年度	62回
令和2年度	37回
令和3年度	34回
令和4年度	40回

問 曾於市内で開催される住吉神社の流鏝馬・鬼追い祭り・弥五郎どん祭り等のSNS等によるアピール・宣伝にもっと積極的に取り組むべきでないか。

市長 SNS等によるアピールが足りないと思う。今後、もっと積極的に取り組んでいく。

問 楨神社が日本二輪車文化協会から県内2か所目のバイク神社に指定されて、11月に開催されたイベントに約400台のバイクが参

加した。観光振興のため、トイレ整備の助成はできないか。

市長 何らかの助成ができないか検討する。

問 国の天然記念物指定の溝ノ口洞穴は携帯電話がつかないが、緊急時に備えてアンテナ基地局の整備を早急に要望すべきではないか。

市長 現在、取付道路の拡幅や電気の送電を計画している。安全対策として携帯電話の基地局もお願いしていく。

台湾里港郷との交流

問 今後の交流計画は。

市長 友好都市協定を見据え、観光や教育等の相互交流や農産物・海産物等の物流の促進を行うための基盤づくりを構築したいと思う。

問 台湾のパイナップル等の果物や海産物を曾於市の3つの道の駅等で販売したり、曾於市の牛肉や黒豚等を台湾で販売する考えはないか。

市長 今後、多方面からの相互交流を深めていく。

ちょっと
ひとりごと

台湾里港郷との
発展的交流を
期待する！



Link



一般質問の録画

Question

市単独の有害鳥獣対策の支援を

Answer

市長／財政状況を見ながら検討したい



有害鳥獣対策

問 イノシシの出産頭数が増えていると聞くと、生態系について専門家を加えて議論した事があるか。

農政課長 専門家等を加えて調査の検討はまだしていない。

問 イノシシ被害を減らすために一番良いと思う対策は。

農政課長 駆除活動を行いつつワイヤーメッシュ柵が効果的である。

問 ワイヤメッシュを設置した農地の被害状況はどうなっているか。

農政課長 イノシシの被害・侵入が減ったと聞いている。



イノシシから逃げる住民

問 今後、市単独の支援を考えているか。

市長 もう少し利用しやすいように要件緩和も含めて検討したい。

問 ワイヤメッシュの設置後、草刈りが大変と聞いているが、防草シートを補助してはどうか。

市長 防草シートを使えば効率が悪くなると思うので、補助できないか検討する。

本市の農業

問 遊休地が増えているが今後どうなるのか。

市長 農業の街なので有効活用できるように努力したい。

問 畑かん事業の畑が荒れた場合、どう対応するのか。

市長 農業振興のための畑かん事業であるので、早めに対応したい。



荒れた休耕地

人口問題

問 人口を増やすために今市長が考えていることは。

市長 まずは交流人口を増やすことである。

問 交流人口を増やすためにどのように考えているのか。

市長 空いている土地があるので様々なイベントができるように検討している。

ちょっとひとりごと

曾於市の農業を守るための新たな支援を



Question

SKLVの総事業費は

Answer

市長 / 28億4293万円

Link



一般質問の録画

南九州畜産獣医学
拠点事業

拠点事業

問 当初計画は22億円であったが、大きく膨らんだことについて。

市長 大きく膨らんだことについては、市民に申し訳ないと思っっている。

問 今後、増えるようなことはないか。

市長 馬施設に放牧場などを検討している。予算規模は、現時点では示せない。

問 オフィスの入居者が、現在50%である。残りの入居者は開設までに埋まるか。

市長 当初募集では半分しか埋まらなかった。追加で募集をしているところである。問合せはあるが、契約までには至っていない。



完成したSKLV

問 SKLVと財部市街地の周辺整備事業を取り組むとなっているが、計画は示さないのか。

市長 新年度の施政方針に示したい。

問 修学旅行の誘致などソフト面の計画は。

市長 まちづくりはまちづくり推進課、SKLVの活用は企画政策課を中心に取り組みたい。財部温泉については、宿泊施設もないこと、老朽化などの問題があり、民間による改築等を含め、新年度に示したい。

肉用子牛生産推進緊急
支援対策事業

支援対策事業

問 11月の競り市の価格は。

市長 子牛価格は、10月まで低迷し続けたが、11月は急上昇した。しかし、対前年同月比では、まだ8万9000円の安値であった。

問 市独自の子牛生産者への支援事業は。

市長 繁殖牛を導入保留することに対して1頭3万円、70歳以上の高齢飼育者への競り市引付料1頭4000円、子牛価格下落に伴う支援を1頭1万円の支給を実施している。

問 そのほかに国の支援事業は。

畜産課長 国の価格補てんが1頭当たり8万2000円である。

曾於市独自の
小規模農家支援

小規模農家支援

問 稲作等の小規模農家が、農地の荒廃をさせないために高齢でも赤字でも生産しているが、支援する考えはないか。

市長 支援していないが、規模に関係なく経営を継続していただけるように支援したい。



価格が下落した市場

ちょっと
ひとりごと

SKLVの成功は、
財部市街地の
まちづくり





一般質問の録画

ファミリーサポートセンター (ファミサポ) 事業の進捗は

Answer

市長 / 令和6年度の開設に向けて建物を改修中である



せとくち えり 瀬戸口 恵理 (さくら会)

孤独・孤立対策

ファミサポの開始は。

【こども未来課長】 年明けから提供会員の募集・研修を行い、新年度なるべく早く開始したい。

【問】 利用対象者は。

【こども未来課長】 小学生までを想定していたが、その他の要望もあるため、調査・検討する。

【問】 適応指導教室の開設時間と送迎は。

【教育長】 原則、8時30分〜午後4時15分までで、保護者による送迎である。

【問】 フリースクール等の利用支援は。

【教育長】 支援はないが、教育の機会均等の観点から今後検討したい。

【問】 適応指導教室の送迎は、保護者の就労に影響するのでは。

【教育長】 来年度から適応

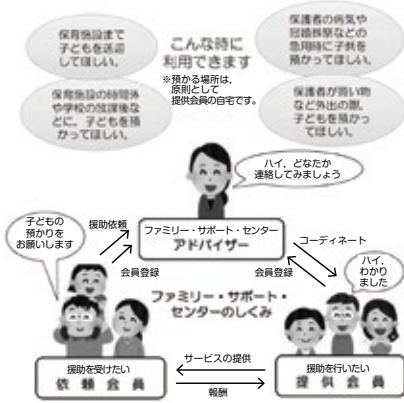
指導教室やフリースクールを利用する保護者へ通学費補助を考えている。

【問】 ファミサポの送迎制度を活用できれば保護者の負担軽減になるのでは。

【こども未来課長】 利用可能か確認する。

【問】 県内でもフリースクール等への支援を求めている動きが活発化しているが。

【教育長】 現在、フリースクール等に対して定義はないが、多様な場所を提供することによって、国にも制度確立や支援に取り組んでほしい。



ファミサポのしくみ (県リーフレットより抜粋)

小児科不足問題

本市の状況は。

【市長】 小児科を掲げているのは松岡救急クリニック分院のみだが、曾於医師会等と協議を進めている。

【問】 「子育てしやすい曾於市」に小児科は重要ではないか。

【市長】 現時点の用途は立たないが、将来的には小児科病院の実現に取り組みたい。

【問】 市長自ら誘致活動を。

【市長】 民間の力を借りてまちを活性化させること



市民団体が活発な活動を行っている薩摩川内市

は基本。市内のつながりから組織づくりを努力したい。

オーガニック給食の推進

【問】 予定は。

【教育長】 価格面や量の確保が課題。年1、2回くらいから始めたい。

【問】 農業の有機化は避けられないが。

【市長】 「有機農業のまち曾於市」を目指したい。曾於市産の有機食材を給食でも活用できるように、来年度予算を増額予定である。

ちょっとひとごと

「子育てしやすいまち」 「有機農業のまち」 を実感できる 政策実現を

意見交換会「議員と語ろう会」

曾於市消防団×総務常任委員会

曾於市議会では、今年度から議会報告会に代わる新たな取組として、市民の皆様の多様な意見・要望等を今後の議会活動の参考とするため、意見交換会を開催することにしました。今回は、令和5年11月2日（木）に消防団本部の皆様と意見交換会を実施しました。



消防団との意見交換会の様子

2班に分かれて実施しました

1班 テーマ「消防団員の確保について」

- 分団によっては各自治会から消防団員を出してもらっている状況もある。また、地域によっては、日中の災害現場に集まることは難しい状況もある。
- 団員確保のために、活動時のケガなどに対する補償の充実も考えていかなければならない。
- 市の職員の消防団としての活動体制の充実が図れば、火災時にも十分に対応できるのではないかと。
- 分団を統合するにあたっては、「現状の団員数を減らす」ということがないようにしなければ、団員が減っていく一方である。
- 分団の統合については、分団同志で互いに活動内容を十分すり合わせてやっていかなければならない。
- 団員確保の方策を、消防団の幹部で検討して実施してもなかなか厳しい状況である。

2班 テーマ「地域活動への関わりについて」

- 地域活動には、学校行事、花火上げ、駐車場整備等や、中にはボランティア的に参加しているものなど多種多様である。費用弁償の支給対象をさらに明確にできれば、活動しやすいのではないかと。
- 消防団に対する地域からの活動要請を事前に市役所を通じて申請するように確立できれば、スムーズにいくのではないかと。
- 野焼きに対する警戒要請について、地域間で連携をとって野焼きをすることができれば、消防団としても対応しやすいのではないかと。
- 分団からの費用弁償等の申請事務が迅速にできるよう改善したい。
- 分団運営費の交付もあるが、管轄戸数が少ない分団は、後援会からの活動補助も少なく苦慮している状況もある。
- 消防団本部の活動費用の拡充を図ってほしい。

故人の功績をたたえ

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

市議会議員大川内富男氏が、在職中の令和5年11月6日御逝去されました。満77歳でした。

同氏は、末吉町議会議員に平成15年5月に初当選され、末吉町議会で1期（2年2か月）、曾於市議会で6期（18年5か月）、通算20年7か月にわたる議員活動の中で、町議会議員時代から文教厚生常任委員を長く歴任され、平成23年12月には文教厚生常任委員長として2年間、そして、平成25年12月から曾於市議会の副議長として2年間、当時の議長を良く支え、その職責を全うされ、住民福祉の向上と市政発展に寄与されました。





夢 チャレンジ



趣味は
読書の大将

今回紹介するのは、鹿児島市谷山出身の桐木平 大河さんです。2023年11月27日に焼き鳥屋「火の鳥」を旧末吉駅前にオープンしました。

以前は商工会に勤めていましたが、自分も曾於市をもっと盛り上げたいとお店を出す決意をしたそうです。

駅前にお店を構えた理由を聞きますと、また昔みたいに駅周りがにぎわって欲しい、地元の食材も沢山使っているので農家も盛り上げられたらと語っていました。

お店の雰囲気も良く、特に炭火で焼いたつくねはとて絶品ですので、市民の皆さんにもぜひ食べて欲しいです。これからの盛り上がりを楽しんでいます！

(出水)

表紙によせて

「おろん」の由来。
この地域は、昔、島津藩の馬の放牧場であり、馬を追い込んで捕獲する谷で「笠ん迫」と呼ばれる場所だったところから、人が集まる場所にしたと思い「おろん」と命名。

おろん市&マルシェは年3〜4回開催され、過疎化・高齢化の進む地域を盛り上げるため、校区内外の皆さんから多くの協力をいただき、地元で取れた野菜、花、手作りのお菓子、小物類、パン類、内之浦漁港で仕入れた魚、キッチンカーなど多くの方に出演していただき、売り切れる店が多かったです。地元、鎌田建設社員の皆さんが、昔なつかしい「カライモ餅」を子供達と作り、お客さんに振る舞い、楽しい交流の場となり、笑顔で帰っていただきました。
これからも目の離せない地域になるでしょう。
(鈴木)



おいしかった「カライモ餅」

編集後記

新しく広報委員長になりました矢上です。

もつと市民の皆さんに議会のことを知って欲しい、理解して欲しいとの意味を込めて、今回から特集ページを作りました。初めてのことで不安もありましたが、以前から挑戦したかったのでワクワクドキシながら議会事務局と広報委員と一緒に取り組みました。
今後も特集ページを作って、市民の皆さんに分かりやすい議会だよりをお届けしていきます。皆さんのご要望もお待ちしております。

(矢上)

ぜひ傍聴にお越しください！

第1回 定例会予定

2月22日	開	会
2月29日・		
3月4日~5日	一般質問	
3月27日	閉	会

私たちが作っています。

いろいろなご意見をお聞かせください。



前列左から矢上委員長・瀬戸副委員長
後列左から鈴木委員・山中委員・片田委員・出水委員

発行責任者

議長 迫 杉雄